

プロフィール

幼少より様々なスポーツに打ち込む

その後体操一本に絞りインターハイ種目別優勝。全日本ジュニア種目別2種目優勝。

オリンピックを目指すも叶わず

2004年 明治大学経営学部卒業

2004年 大学卒業後すぐに青年海外協力隊としてパナマ共和国へ派遣

2004～06年 体操コーチとしてパナマナショナルチームの強化、組織運営、裾野の拡大、未開地域での体育教育の普及に従事。スペイン語もネイティブ並みに習得。

2007～2009年 協力隊の任務を終え、将来的に国連で働くことを目標に渡米。ロサンゼルスに降り立ちレンタカーを借り、VISAなし、コネなし、アポなしで直接乗り込み直談判での就職活動。無謀な挑戦にも関わらず、2週間で仕事を手に入れVISAも取得。午前中は英語の語学学校へ通い、午後は夜まで体操コーチとして働く。

2009～18年 国連で働くことを目標としていたが、人生で足りないものを埋めるべくシルクドゥソレイユへ応募。すぐにキャスティングチームから国際電話が鳴り、異例にもオーディションなしで電話による直接契約オファーを受ける。新規ツアーショーのTOTEMへ初期の制作段階から携わり、TOTEMのメインロゴキャラクターに抜擢。チームではキャプテン、コーチも兼任。世界20カ国以上から集まる世界トップクラスの一流・変人集団をまとめる。9年間で3000回以上の公演回数、世界50都市以上、1000万人近くを動員。

2019年 シルクドゥソレイユ引退後帰国し、青年海外協力隊の時からずっと心に残っていた農や自然環境を大切にする生き方を模索するため、自転車で各地の農家に滞在しながら1年かけ日本を1周。その時に滞在した熊本県菊池市の素敵な人々、水、おいしい農産物に惹かれ、ここから農や自然を大切に考える考え方を伝える企画をしたいと移住を決意。

また同時期より、TOTEMの総合ディレクターであり世界的演出家であるロベール・ルパージュ氏に見出され、舞台の世界へも進出。現在も日本と海外を往復する。

2022年2月より、農業とエンターテインメントを掛け合わせた農業の素晴らしさを伝えるプロジェクト「農タメ」をスタート。

現在までに50回ほどのイベントを開催し、これまでに延べ1000人以上の参加者に体験を通して農や自然の楽しさを伝えている。TV、新聞、雑誌などの取材や出演多数有り

著書

大学卒業後からシルクドゥソレイユに至る人生経験や人生哲学、ワールドツアーでの体験談などを出版。

- ・シルク・ドゥ・ソレイユで 世界を巡る住み旅: スーツケース2つに人生を積み込む
- ・シルク・ドゥ・ソレイユで 世界を巡る住み旅2: 踏み出せばその一歩が道になる
- ・シルク・ドゥ・ソレイユで 世界を巡る住み旅 3: 「出会い」を良くするか悪くするかは自分次第だ